

令和3年3月3日

かすみケアグループ 代表(理事長) 齊藤 正身

昨年4月から始まり、1年間で59人の皆さんから「介護心得に想うこと」を語っていただきました。日々の緊張が続くコロナ禍の中、皆さんの温かい想いが伝わり、その度に会長の顔が浮かんできました。会長と直接会ったことがないスタッフが大半ですが、このような歴史の延長線上に今があることを実感できたでしょうか？

締めくくりはこの人しかいませんね！齊藤正男会長にお願いしましょう。

30. そして、あなたは、真正会の職員であることに誇りを持ちましょう

真正会のめざす事業理念に共感し、職員の一人としての役割を担い、毎日の勤務を通して、真正会の職員であることに喜びを感じ精進するとき、必ずやあなたの人生にとって誇れる何かをつかむことができるでしょう。その結果は利用者とあなたの幸せのためになることなのです。

「老人にも明日がある」の本来の意味は、敬老精神そのものである。

ことさら、「老人にも」と強く訴えたことは、今の日本の生活環境はめまぐるしく変化していく。特に弱い立場にある老人は数多くの障害(病気、貧困、孤独等)に会い、加えて高齢人口は大変なスピードで激増している現状下、あえて「老人にも明日がある」のだと声を大にして言わないではいられない。老人への思慕、いたわり、なぐさめ、思いやり、励まし等の願いを込めたものが「老人にも明日がある」の理念で、これは、病院そして真寿園に、それぞれ共通した設立理念であり、事業理念である。

未来に向かって、躍動感溢れ、希望に胸膨らます若い人達に伍して、老人も未来に夢を抱き、充実感に満ちた豊かな老後を、私たちは、医療を通し、福祉を通して援助し、期待しようではないか。そこにこそ「老人にも明日がある」の創業のコンセプトは輝く。

齊藤 正男

1999年4月24日発行 『人に尽くす 老人にも明日がある』より

多くのスタッフが入職の面接で「老人にも明日がある」に共感して当法人を選んだと答えてくれます。こんな素敵なことがあるのでしょうか！

齊藤 正身